

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	こども相談課長	青木 達哉	
こども-19	実施事業	地域子育て支援拠点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こども相談課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	こども支援課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	子育て家庭等
意図	子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。
効果	子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業を指定管理によって行った（現在の指定管理者への指定管理期間は、令和3年度まで）。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	30,281	30,326	当初予算(千円)	30,761
	国県支出金	19,646	19,685	国県支出金	20,396
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	10,635	10,641	一般財源	10,365
	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5
人件費(千円)	3,915	4,048	人件費(千円)	3,977	
事業経費運営	総事業費(千円)	34,196	34,374	総事業費(千円)	34,738
	市民1人当りの経費(円)	194	195	市民1人当りの経費(円)	197
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである	
	協働	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a:事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b:事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c:事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A:予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B:予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 今年度は指定管理期間の4年目にあたり、引き続き、前年度と同規模の運営経費を計上し、事業を継続する。	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	現指定管理者による管理の3年目となった令和元年度は、前年同様大きな問題もなく、滞りのない運営を行うことができた。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一定期間の休館を余儀なくされ、今後も感染防止に配慮した施設運営を検討する必要性が生じている。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・腰越地域の子育て支援センター設置に向けた検討。 ・新型コロナウイルス感染拡大状況下での施設運営の検討。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・腰越地域の子育て支援センターの設置について、関係課と情報共有を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大状況下での施設運営方法について協議を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課との協議の中で、今後建て替えを行う腰越保育園内への設置の方向性を確認しているが、事業手法等について、今後も引き続き、関係課との協議を継続する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染拡大状況下での施設運営について、事業者、関係課との協議を継続し、状況に応じた施設運営を行う必要がある。 	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	地域子育て支援拠点の数(令和元年度分・鎌倉三浦児童相談所所管市町に確認)							
団体名	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町				
他市実績	4	1	1	1				
	指定管理	委託	民間事業者へ補助金	委託				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市と比較して、本市の地域子育て支援拠点(子育て支援センター)の設置状況については、ある程度充実していることがわかる。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	子育て支援センター利用者数(利用者(親子)の総人数)					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
児童虐待相談体制の充実を図るため	目標値	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000			
	実績値	22,287	30,946	36,792	35,006	39,711	31,595			
	達成率	69.6%	96.7%	115.0%	109.4%	124.1%	98.7%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、一定期間、センターを休館していたため、利用者数が大きく減少している。今後も感染拡大に配慮し施設運営を検討する必要があり、それに伴い、指標自体の見直しも必要であると考え
-----------------------	--